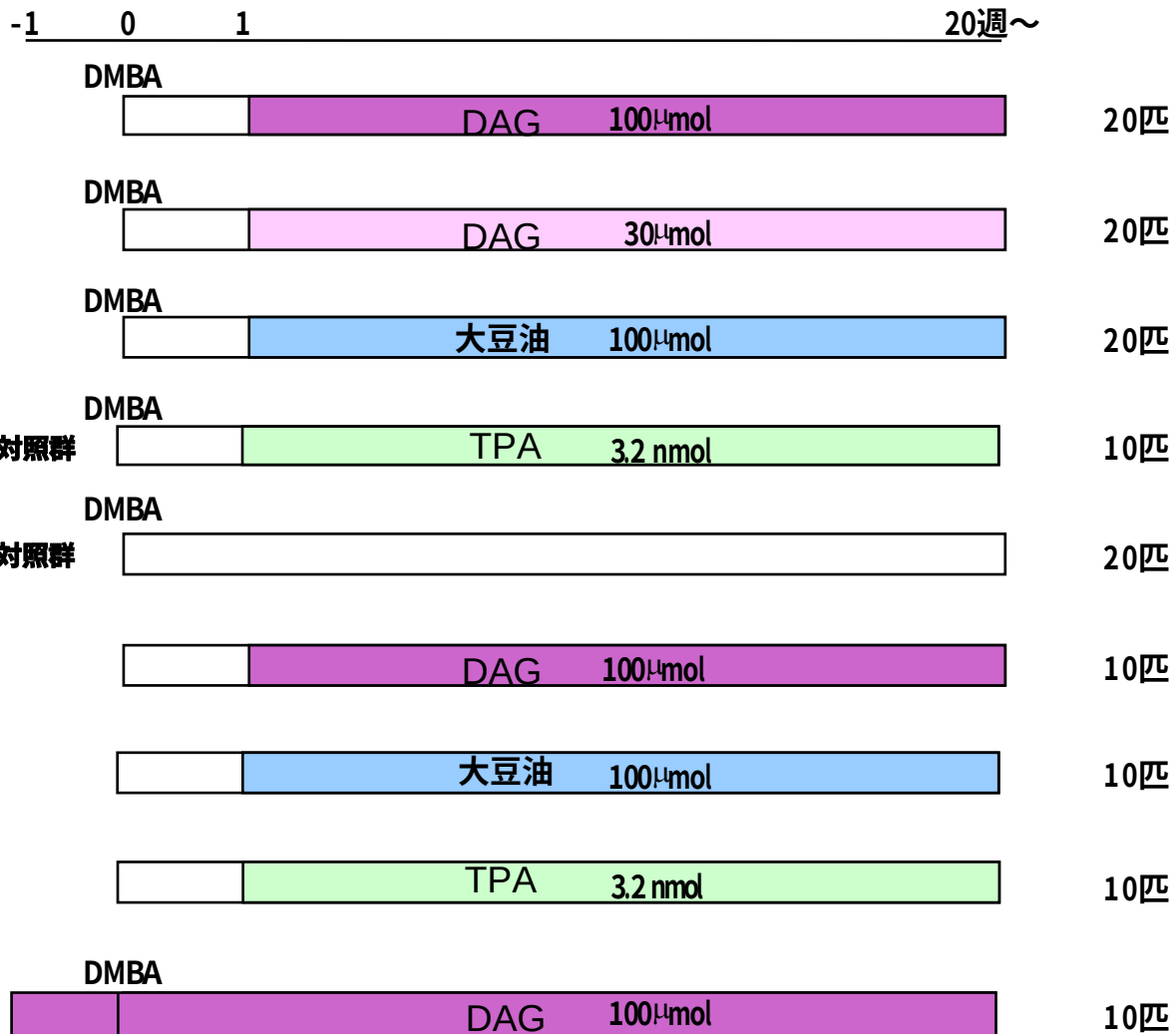


マウス皮膚二段階発がんにおけるDAGのプロモーション作用の検討

国立がんセンター研究所

マウス : ICRマウス ♀ 6週令 130匹
 イニシエーション : DMBA (100 μ g 塗布)
 プロモーション : 高濃度にDAGを含む食用油、大豆油 週2回塗布



○検定はDMBA→大豆油に対しDMBA→DAGの増減を検定する。

中間報告 (11月24日 (DMBA塗布によるイニシエーション後12週目) 現在)

陽性対照群 (DMBA塗布後TPA塗布群) ではTPA塗布5週目より、マウスの背部の皮膚に隆起状病変が発生し始め、12週目現在10匹中5匹 (50%) に発生しており、平均発生数は 4.8 ± 2.6 (平均 $\pm$ SE) である。一方、他の全ての群では、このような隆起状病変の発生は観察されていない。

なお体重については陰性対照群 (DMBA塗布後溶媒塗布) に比し全ての群で有意な変化は見られなかった。